

D 2023/1/22(日) 13:30-15:00

第3回がんプロフェッショナル研修会 市民公開講座

「快適ながん治療に向けて「病院と薬局の薬剤師は繋がります」

講座情報

私たちが何らかの病気にかかったり、けがをしたりすると多くの人は病院を受診すると思います。そして、必要な検査や診察を経て原因が特定され、必要な医療サービスが施されます。お薬を用いた治療は最もよく用いられる方法で、多くの場合そこに薬剤師が関わっていきます。皆様がよくご覧になる薬局にも必ず薬剤師がいることでしょう。

ところで質問です。なぜ、経営母体と同じではない病院と薬局が、患者さんに対して切れ目のない医療サービスを提供できるのでしょうか？そこにはどんな仕組みや工夫があるのでしょうか？そして、なぜ皆さんは数ある薬局の中でその薬局を選ぶのですか？

本講演ではそんな疑問にお答えできるよう演者の体験を交えお話したいと思います。

《学習到達目標》

- ・病院薬剤師の仕事が分かる。
- ・薬局薬剤師の仕事が分かる。
- ・政策がどのように薬剤師の仕事に関係しているのか分かる。
- ・それぞれの薬剤師の仕事が皆さんにどう関係しているのか分かる。

講演者情報

大里 洋一

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 国際開発部門 国際教育室 国際教育主任

プロフィール

2004年3月 東京薬科大学薬学部 卒業

2004年4月 東京医科大学薬剤部

2014年3月 東京医科大学大学院博士課程修了(博士(医学)取得)

2014年7月 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター薬剤部

2020年4月 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部主任

2020年11月 同 国際開発部門国際教育主任(転籍)

参考文献

「採用基準」(ダイヤモンド社) 伊賀泰代

「イシューからはじめよ」(英治出版) 安宅和人

「医師のためのノンテク仕事術」(羊土社) 前野哲博

「コーチングとは「信じること」」(文藝春秋) 生島淳